



広報

い ず み

人口828人・男390人・女438人・出生2人・死亡0人・転入7人・転出6人・世帯数286世帯 4月1日現在



ピカピカの一年生

左から吉村英之くん、木下智仁くん
井南知佳ちゃん、泉 紘一郎くん

'96
春号

No. 413

平成八年度 予算概要及び 村長施政方針（抜粋）

三月七日から十三日まで開かれた村議会定例議会で、平成八年度の一般会計並びに特別会計予算が承認されました。

一般会計及び特別会計の予算総額は二十九億九千三百八十六万円で、対前年度比十二・八％の増額となりました。

一般会計は、二十四億四千四百万円で対前年度比十三・九％の増額予算となりました。

主な事業は、昨年から今年にかけての二年継続事業のファミリーリゾート整備推進事業に、二億七百七十万円、今年が最終年度となるクロスカントリースキースキー場整備事業に、一億五千四百八十万円を計上いたしております。

特別会計では、簡易水道事業会計で、これまで継続して改良を進め、今年度完成の朝日地区簡易水道工事

に、二千八百万円を計上、また、他の簡易水道におきましても所要の額を計上し調査、改良を促進し、一日も早い水量の安定供給に努めてまいります。

観光事業会計では、昨年同様、貸付金八千万円を計上し預託制度を通して、公園施設管理公社の円滑な運営に資するとともに、村と公社とが一体となり初期の目的達成のため努力を重ねてまいりたいと存じます。

老人医療特別会計では、急激な高齢化の現象に伴い、その医療費も年々増加しているのが現状でございます。それに対応すべく増額予算を計上いたしました。国民健康保険事業会計、診療所事業会計につきましては、実績を勘案して所要の額を計上いたしております。

一般会計の歳入予算につきましては、次

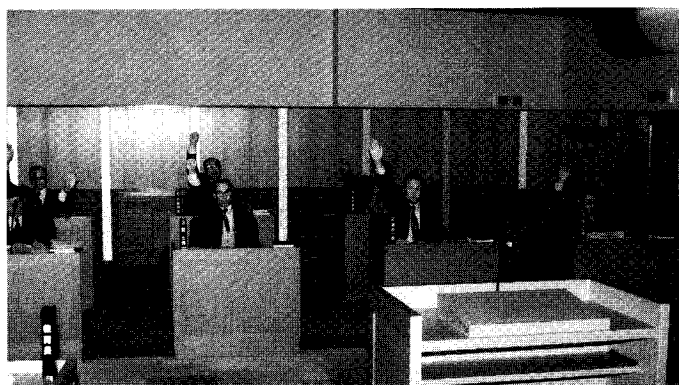


表 1

| 予 算 額 | 前年度伸び率 |
|-------|---------------------|
| 一般会計 | 24億4,400万円 13.9% |
| 特別会計 | 5億4,986万円 8.2% |
| 合 計 | 29億9,386万円 12.8% |

- ◆ 村税 二二一、五二〇千円
- ◆ 地方譲与税 一五、五〇〇千円
- ◆ 地方交付税 一、二二〇、〇〇〇千円
- ◆ 国庫支出金 九五、一八〇千円
- ◆ 県支出金 二八〇、七三、八千円
- ◆ 財産収入 一一、〇三、三千円
- ◆ 繰入金 一五七、九四八千円
- ◆ 繰越金 二〇、〇〇〇千円
- ◆ 諸収入 五五、七三、四千円
- ◆ 村債 三五〇、〇〇〇千円

主な事業

【総務費】

従来の事業に加え、防災体制の強化を図るため、県庁、県内各自治体消防署を結ぶ防災行政無線再整備事業に一千六十九万九千円を計上、和泉村制四〇周年記念式典には所要の額を、また、教育ゾーンの確立、総

合保健センターの設置等について総合的に審議をしていただく審議会の経費も計上いたしております。

【民生費】

社会教育福祉総合センターの利活用を模索するために、改修調査委託料を百万円計上し、総合保健センターとしての再利用についても検討を重ねてまいりたいと考えております。こうした将来の総合的な社会福祉施

設を念頭に置きながら、社会福祉協議会の基盤の安定と充実もはかるべく、協議会の補助金も増額計上いたしております。

【衛生費】

平成九年四月一日から施行となります再資源ごみの分別収集に備え、収集車と空缶簡易セパレーターの備品を四百五十九万五千円で整備することといたしました。

【農林水産業費】

農業振興費においては、生産規模の拡大と、生産者が増加しております花き生産組合に対し一千六百万円を補助し、また、機械等の整備をはかりまして特産品としての地位を確立してまいりたいと考えております。

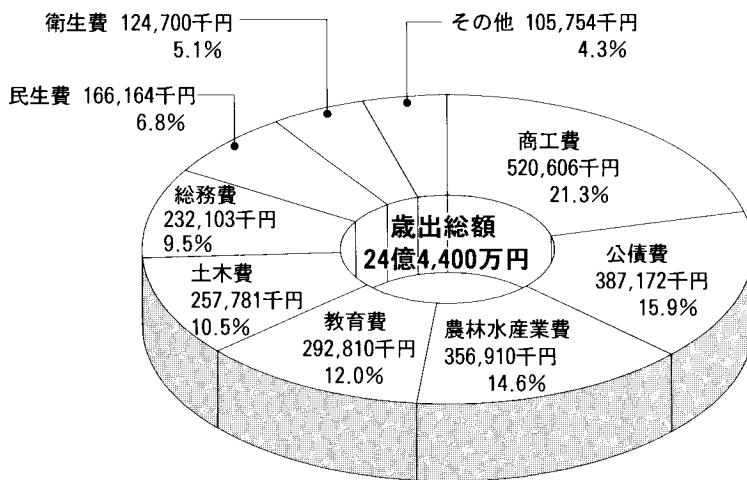
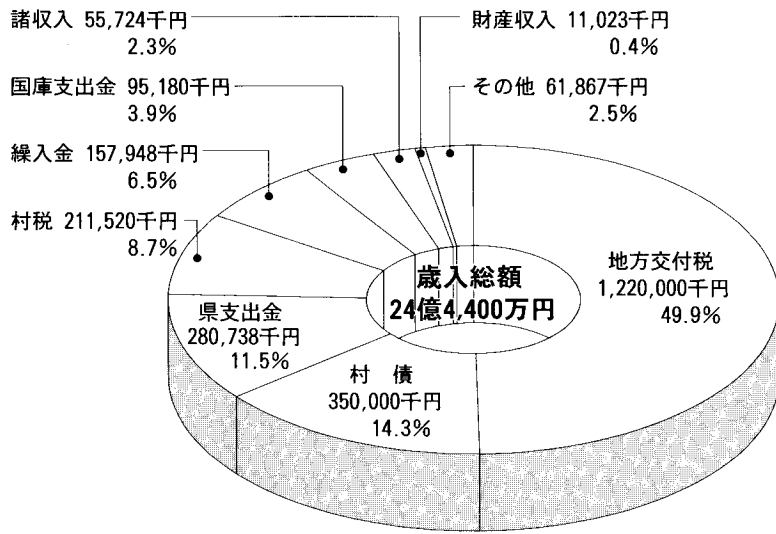
新山村振興対策費では、友好関係を持続してまいりました岩倉市との提携調印等の経費一千二百万円余りを計上し、記念事業を実施してまいります。

林業振興費では、数年前から大納地区より要望のありました林道春木谷線の開設工事に着手することとし、工事費に二千六百五十万円を計上し、また、近年の森林従業員の人材難解消のため、林業後継者育成支援基金を設置し、積立金五百万円を計上しております。

産業活性化対策事業費では、既設の特産物加工施設を改修し、既存の特産品のグレードアップと新規特産品の創出に努めてまいりたいと、工事費八千八百万円を計上いたしました。

【商工費】

平成七年度より二カ年計画で進めております森とふれあう交流ステーション整備工事に、本年度二億七千



七十万円余りを計上し、早期完成を目指すことにしております。

【土木費】

備品購入費に二千六百十五万円を計上、除雪車一台の更新と、歩道用小型ロータリー除雪車一台を購入することといたしました。村道関係では二路線の改良、開設に取り組むこととし、村道桑島線は、後年度に葬斎場、廃棄物最終処分場整備計画のあります桑島地係まで、国道より橋梁整備事業を三年計画で進める、初年度工事費に八千七百万円を計上したところでございます。板倉地区の村道新設問題は議会へも要望がなされておられ、今年度より整備することとしまして、一千三百五十万円余りを計上しております。

【教育費】

小学校の統合の年でもありますが、教育環境に配慮しながら所要の額を積極的に計上いたしました。クロスカントリースキ場整備事業は今年が最終年度で、スキーセンター新設経費一億五千四百八十万円を計上し、今後各種大会の誘致に努め、地域の活性化の一助にする所存でございます。

観光の振興と定住

四季折々に変化する、この恵まれた自然を背景に、道路交通網の整備や生活環境の整備をはじめ、若者の雇用創出するための地場産業を振興しなければならぬという考えから、これまでに各種施策を実施してまいりました。その一つには、

「平成の湯」「フレアール和泉」のオーブン、そして「青葉の笛の里」「和泉クロスカントリーコース」などの整備をさせていただきました。幸い平成七年も観光入込客が昨年に続いて百万人を上廻り、点在する観光施設との連携、そして見直しまたは、直接、間接の地域への波及効果に配慮しながら、推進しているところであります。

二つ目には、地場産業の振興及び生活環境の整備であります。安定した地場産業、そして特産品でありました昇竜マイタケ工場の再建を目指し、多くの困難な問題もございましたが、皆様の力強いご協力のもとに再スタートをすることができ、現在厳しい中にも安定した生産を続けている状況であります。特産品の生産

販売が観光の必須条件であることは言うまでもございませんが、穴馬カブラ、スイートコーンあるいは花き生産も含めて観光と連動させながら進めているところでございます。

三つ目は定住対策であります。若者が定住することは地域に活力を与え、また新しいアイデアが生まれる源であるといっても過言ではありません。定住対策は、観光、地場産業を含めた雇用の場拡大が必要でありますし、生活環境の整備に至るまですべてに関連するものであります。まずは、地元産業就業奨励金制度を創設して、若者のＵターン、Ｉターンを奨励し、定住人口の増大と産業の活性化を図っております。しかしながら現状を考えますといくつかの条件が欠如しているところでございますので、今後は更なる条件整備を進めながら努力したいと考えているところであります。

次に教育環境並びに福祉対策であります。大納小学校下の児童生徒数の減少によりまして、四月より朝日小学校へ統合となりました。校下

の保護者の方々をはじめ地域住民の皆様への心遣いは察するに余りあるところではございますが、現在の社会情勢と子供たちの教育を最重点としてご理解いただきました皆様方に、今更ながら頭の下がる思いであります。次に福祉対策であります。全国的にも高齢化が進み、本村も例外ではございません。平成五年に社会福祉協議会を法人化し、保健婦等の訪問サービス、在宅での諸サービスなど、更に内容を充実いたしましたして対応しているところであります。

活力ある、豊かな村づくりを目指す上で、克服しなければならぬ課題も山積をいたしておりますが、村民各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成8年度における主な事業

(単位：千円)

| 款 | 事業名 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | 備 考 | 補助対象 基本額 | 補助率 | |
|-------------|--------------------|---------|---------|---------|--------|--------|-----------------------------------|-----------------|--------|------------|
| | | | 国県支出金 | 起 債 | その他 | 一般財源 | | | 国 | 県 |
| 総務費 | 広 報 事 業 | 4,527 | | | | 4,527 | 広報誌「いずみ」及び有線放送 | | | |
| | 村有林保育事業 | 3,448 | 1,471 | | | 1,977 | 除間伐13.7ha | 2,942 | | 1/2 |
| | 村営バス運営事業 | 12,758 | 2,299 | | 2,300 | 8,159 | 2路線運行業務 | 4,599 | | 1/2 |
| | コミュニティ助成事業(宝くじ助成金) | 2,884 | | | 2,400 | 484 | 電子浴治療器、全身アソマ器、 全自動血圧計、全自動身長体重計 | 2,400 | | 宝くじ 助成金 |
| | 防災行政無線再整備事業 | 10,699 | | 9,000 | | 1,699 | | | | |
| | 「シャンソン村」里づくり事業 | 1,500 | | | | 1,500 | シャンソン村運営委員会助成 | | | |
| | 和泉村誕生40周年記念式典 | 3,422 | | | | 3,422 | | | | |
| | JR東海バス運行事業 | 5,500 | | | | 5,500 | | | | |
| バス待合室新設工事 | 2,656 | 1,328 | | | 1,328 | 上大納地区 | 2,656 | | 1/2 | |
| 民生費 | 生活安定対策事業 | 16,000 | | | 16,000 | | | | | |
| | 住宅資金貸付事業 | 2,000 | | | | 2,000 | | | | |
| | 定住促進対策事業 | 850 | | | | 850 | 出産奨励金 | | | |
| 衛生費 | ゴミ収集車購入事業 | 3,695 | | | | 3,695 | 2tダンプ | | | |
| | 合併処理浄化槽事業 | 5,940 | 3,072 | | | 2,868 | 合併浄化槽設置補助 6基 | 4,608 | 1/3 | 1/3 |
| 農 林 水産業費 | 団体営農道整備事業 | 10,000 | 5,500 | | | 4,500 | 下山岡畑地区 | 10,000 | | 55/100 |
| | 県単土地改良事業 | 10,675 | 5,337 | | | 5,338 | 上大納外 | 10,675 | | 1/2 |
| | 花き産地育成事業 | 16,000 | 7,633 | | | 8,367 | 花き生産組合機械施設整備 | 20,000 | | 1/2・1/3 |
| | 県単林道改良事業 | 70,000 | 35,000 | 32,000 | | 3,000 | 荒島線外2路線 | 70,000 | | 1/2 |
| | 林道春木谷線開設事業 | 28,650 | 20,055 | 8,000 | | 595 | L=200m、幅員4.0m | 28,650 | 5/10 | 2/10 |
| | 県単作業路整備事業 | 1,750 | 750 | | | 1,000 | 角野 | 2,500 | | 3/10 |
| | 淡水魚放流事業 | 2,500 | | | | 2,500 | アマゴ、イワナ、アユ放流 | | | |
| | 中山間地域農村活性化対策事業 | 90,000 | 45,000 | 43,000 | | 2,000 | 地域特産物加工施設 | 90,000 | | 1/2 |
| | 産業就業対策事業 | 1,600 | | | | 1,600 | 就業奨励金 | | | |
| | シンボル花の丘改修事業 | 4,600 | | | | 4,600 | | | | |
| | 林業後継者育成支援基金 | 5,000 | | | | 5,000 | | | | |
| | 友好提携事業 | 11,910 | | | | 11,910 | シャンソンコンサート・雪のプレゼント外 | | | |
| 商 工 費 | 商工振興資金貸付事業 | 25,000 | | | 25,000 | | 商工振興資金 18,000 商工観光施設整備資金 7,000 | | | |
| | 九頭竜万本さくら推進事業 | 2,000 | | | | 2,000 | | | | |
| | 九頭竜新緑まつり事業 | 3,000 | | | | 3,000 | 5月18、19日 | | | |
| | 九頭竜紅葉まつり事業 | 13,000 | | | | 13,000 | 10月26、27日 | | | |
| | 九頭竜ゆきまつり | 5,000 | | | | 5,000 | 2月8日 | | | |
| | ファミリーリゾート整備推進事業 | 207,772 | 100,000 | 90,000 | | 17,772 | 森とふれあう交流ステーション | 200,000 | | 1/2 |
| 土 木 費 | 国県道等改良事業負担金 | 2,000 | | | | 2,000 | | | | |
| | 村道桑島線改良事業 | 120,000 | 66,000 | 48,000 | | 6,000 | 橋梁整備 | 120,000 | 55/100 | |
| | 村道板倉線開設事業 | 15,945 | | | | 15,945 | L=128m W=4.0m | | | |
| | 九頭竜川河川環境整備事業 | 15,000 | | | | 15,000 | 九頭竜川 河床整形 | | | |
| | 雪寒機械整備事業 | 26,150 | 14,633 | 6,000 | | 5,517 | 除雪ドーザー更新 小型ロータリー除雪車 | 21,000 1,900 | 2/3 | 1/3 |
| 教 育 費 | スキーセンター整備事業 | 154,800 | | 114,000 | | 40,800 | クロスカントリースキー場 | | | |
| | 歴史と文化の地域づくり事業 | 10,742 | 5,000 | | | 5,742 | 「歴史の里」づくり | 10,000 | | 1/2 |
| | ニュースポーツ推進事業 | 1,000 | 500 | | | 500 | | 1,000 | | 1/2 |

特別会計

| | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------|--------|--------|--|--------|-------|------------|--|--|--|
| 簡易水道会計 | 水道配管新設工事 | 28,000 | 26,652 | | | 1,348 | 朝日地区簡易水道施設 | | | |
| 観光会計 | 和泉村公園施設管理公社運営資金預託金 | 80,000 | | | 80,000 | | | | | |

3月 定例村議会

第六十回和泉村議会定例会が三月七日に招集され、平成七年度補正予算、平成八年度予算、国民健康保険条例の一部改正など、議案十九件がいずれも原案どおり可決されました。

中でも林業後継者育成支援基金条例は、林業従事者の減少と高齢化が進む林業経営の中で、若年労働者を全国的に募集する森林組合の五ヶ年計画事業実績に助成をするための基金が制定されました。

また、村立学校設置条例の一部改正では、大納小学校の児童数の減少により、朝日小学校に統合することとなりました。

15年ぶりに

雪害対策本部設置

一月二十九日から断続的に降り続いた雪は二メートル以上の積雪となり、二月二日には、「五六豪雪」以来となる雪害対策本部が設置されました。

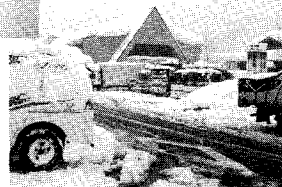
対策本部では、一人暮らし老人、母子寡婦家庭宅の雪下ろし作業や、

各地域の状況把握に努めていました。また、除雪車もフル回転し、道路の除雪を行いました。

▼通行止によりトラックが駐車する駅前



▲3 mの積雪のある上大納



震度5の衝撃

―壁にひび、窓ガラス割れる―

二月七日午前十時三十三分ごろ、荒島岳東側を震源とするマグニチュード五・〇、震度五の地震が発生し、役場や、学校、診療所、福祉センターなどの建物で壁のひび割れや、窓ガラスが割れるなどの被害を受けました。また、二メートルを超える積雪のため、雪崩も心配されましたが、特に被害はなく、混乱はありませんでした。

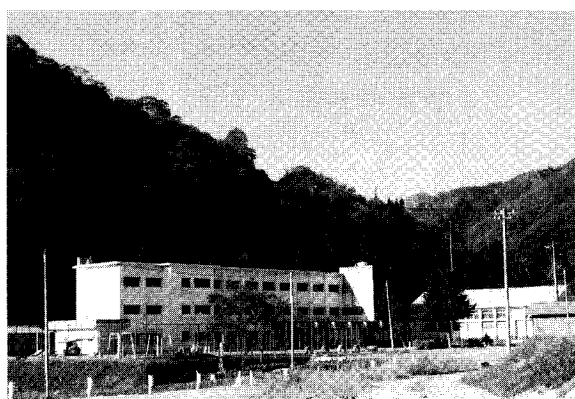
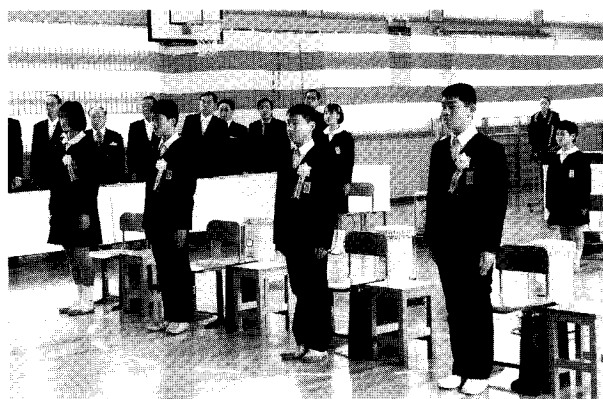
いつまでも、心の中に。

大納小学校

明治十二年四月、下穴馬村朝日尋常高等小学校分教場として開校以来数回の校名変更を経て、大納小学校は百十数年の歴史に幕を下ろしました。

児童数は昭和三十年代中頃から昭和四十年代中頃までがピークで、二百七十名を超える時期もありましたが、中竜鉱山の影響にもより、昭和五十年頃から激減し、平成七年にはわずか九名となりました。

統合により、四月からは、四名の児童が朝日小学校に通学することになり、朝日小学校の児童数は五十名になります。



大納小学校の沿革

昭和二十六年の火災により、沿革史が消失し不明の点もあります。

| 年 月 | 出 来 | 事 | 児童数 (人) |
|-----------|--|---|------------|
| 明治 十二年 四月 | 下穴馬村朝日尋常高等小学校分校として、上大納小山三番地に設立 教員一名 一〇三年の複々式 | | |
| 十九年 四月 | 下穴馬村下山尋常小学校分校となる | | |
| 三十一年 四月 | 上大納十九号十一番地に校舎移転 教員二名 一〇四年と補習科 | | |
| 四十一年 四月 | 校舎新築 上大納二十三号落合五番に移転 | | |
| 昭和 九年 四月 | 校舎増築 | | |
| 十三年 四月 | 校舎増築 奉安殿新設 | | |
| 十五年 四月 | 村長の谷口市松氏一宮尊徳像を寄贈 | | |
| 十六年 七月 | 下穴馬村大納尋常高等小学校創立 教員二名 初代校長三足光蔵氏 大納国民学校と改称 中竜鉱山の発展と児童数の増加により、中竜鉱山所長風岡英治氏校舎・講堂・便所を増築し寄贈 | | 四十 |
| 十八年 四月 | 敷地増設 教員五名 二代校長牧野義一氏 | | |
| 十九年 十一月 | 水道工事完備 校舎増築 教員六名 | | |
| 二十二年 四月 | 新制中学校設立 大納小・中学校と改称 二代校長小池民治氏 | | |
| 二十三年 四月 | P.T.A.結成 初代会長中村建吉氏 教員十名 | | |
| 二十四年 二月 | 敷地調査買収 | | |
| 四月 | 中竜鉱山休山のため児童数減少 | | |
| 二十五年 十月 | 学校創立五十周年記念式・全村運動会・学芸会挙行 第四代校長西岸献諒氏 | | 六十二 |
| 二十五年十一月 | 下大納蓬生谷に学校林植樹 中竜鉱山再開 | | |
| 二十六年 二月 | 小使室から出火 校舎一棟・講堂屋根・便所一棟・重要書類焼失 その後部落三ヶ所に分散授業 | | |
| 三月 | 講堂増築 | | |
| 四月 | 講堂を五教室に区切り授業を行う | | |
| 五月 | 学校建築を穴馬組が四百七十万円で落札 中竜鉱業所二百五十万円で寄附 | | 百十三 |
| 十一月 | 新校舎落成 | | |
| 二十七年 六月 | 校舎拡張 ビアノ一台中竜鉱業所より寄贈 | | 百四十二 |
| 二十九年 六月 | 音楽室・工作室を増築 | | 百六十七 |
| 三十年十一月 | 給食準備室竣工 五代校長山川政夫氏 | | 百九十五 |
| 三十四年 七月 | 給食室井戸モーター設置水道完成 非常階段増設 第六代校長森水高氏 | | 二百六十五 |
| 三十五年 五月 | 下水溝・倉庫設置 | | 二百七十一 |
| 三十六年 十月 | 中竜鉱業所より二十万円の備品寄贈 教員住宅新築 第七代校長出村清一氏 | | 二百五十二 |
| 三十七年十二月 | 大原に大納中学校舎 工期完了 大原に教員住宅新築 | | 二百三十九 |
| 三十八年十一月 | 大納中学校校舎落成 独立移転 本校は大納小学校となる | | 二百二十四 |
| 三十九年十二月 | 日進小学校校舎に備品移管完了 第八代校長古川将氏 | | 二百十二 |
| 四十年 五月 | 日進小学校校舎より備品移管完了 第八代校長古川将氏 | | 二百二十七 |
| 四十一年十二月 | 給食準備室・東部中学校寄宿舎を移築 大和小学校講堂を移転改増築 | | 二百三十一 |
| 四十二年 四月 | 講堂防球ネット取付・第九代校長前川義正氏 | | 二百三十二 |
| 九月 | 文部省・福井県指定道徳教育研究学校となる 辻善久氏国旗掲揚柱寄贈 | | |

| 年 月 | 出 来 | 事 | 児童数 (人) |
|----------|----------------------------------|---|------------|
| 昭和四十三年十月 | 道徳教育研究発表大会 | | |
| 十一月 | 校庭に砂場新設 | | |
| 四十四年 四月 | 学習研究社より学研教育賞授賞 | | |
| 四十五年 四月 | 福井県指定総合教育研究校となる | | |
| 五月 | 養護教諭配置 | | |
| 四月 | 校庭整地工事完了 | | |
| 十月 | 福井県指定総合教育研究発表会 | | |
| 十一月 | 校庭にバックネット取付 | | |
| 四十六年 四月 | 八学級となる | | |
| 十一月 | 教員住宅大納寮完成 暖房を石油ストーブに切替 | | |
| 四十八年 六月 | 校舎改築工事開始 第十代校長山本龍馬氏 | | |
| 四十九年 十月 | 鉄筋三階建新校舎落成 | | |
| 五十一年 四月 | 文部省指定国語教育研究校 第十一代校長小林一夫氏 | | |
| 十月 | 中日教育賞受賞 | | |
| 十一月 | 博報賞受賞 | | |
| 五十二年 二月 | 福井県指定保健体育研究校となる | | |
| 五十四年 四月 | 保健体育優良学校の表彰を受ける 第十二代校長杉原清一氏 | | 百九 |
| 五十五年十一月 | 朝日新聞社より健康優良学校の表彰を受ける | | |
| 五十六年十一月 | 同右 | | |
| 五十七年十月 | 県より健康優良学校の表彰を受ける | | |
| 五十八年 五月 | 文部大臣より学校保健優良校の表彰を受ける 第十三代校長鈴木康雄氏 | | 四十九 |
| 五十九年十一月 | 福井県P.T.A.連合会の表彰を受ける 第十三代校長鈴木康雄氏 | | 四十二 |
| 六十年 六月 | 学校給食の振興発展に寄与し表彰を受ける | | 三十四 |
| 平成 元年 三月 | 福井県研究奨励賞受賞 第十四代校長武田知道氏 | | 三十一 |
| 十一月 | 保管倉庫新設 第十五代校長山田浩一氏 | | 十八 |
| 二年 九月 | 和泉村教育委員会研究委嘱校発表 | | |
| 三年 八月 | 校舎庇改修 体育館天井照明灯取替 | | 二十一 |
| 四年 六月 | 体育館屋根塗装 第十六代校長山田一郎氏 | | 十六 |
| 七月 | プール通路舗装 | | |
| 十月 | 壁防水補修 床補修 | | |
| 十一月 | 壁塗装 | | |
| 五年 八月 | プール小屋・倉庫屋根塗装 第十七代校長砂田正二氏 | | 十四 |
| 六年 八月 | 駐車場新設 | | |
| 七年 六月 | 駐車場新設 統合に向けて話し合いが始まる | | |
| 八月 | 統合に向けて話し合いが始まる | | |
| 十二月 | 朝日小への統合決定 | | |
| 八年 三月 | 閉校式 記念誌「清き流れ」発行 | | 九 |

平成七年度

教育研究顕賞
受賞者決まる

平成七年度和泉村教育研究顕賞の表彰式が二月二十七日(火)ふれあい会館で行われました。

この賞は、創意と工夫に満ちた教育活動推進に顕著な業績があった職員や児童、生徒に贈られました。賞を受けた方々は、次のとおりです。

◎教育奨励賞

- 禅定知子(朝日小学校講師)
- 川田信行(朝日小学校教諭)

◎優秀選手賞

- 東 比沙子(剣道部)
- 中村真祐美()
- 谷 和美()
- 木下尚子()
- 古川菜美()
- 三橋智寿子()
- 山出しぐれ()
- 東 拓也()
- 宮下美由紀(スキー部)
- 山村あゆみ()
- 表 いく美()
- 村上恵里佳()
- 谷口めぐみ()

◎体育奨励賞

- 田村沙央里(和泉中二年)
- 古川菜美(和泉中三年)

◎賞 詞

- 井南明恵(朝日小三年)
- 田村英樹(大納小六年)
- 谷口好美()

教職員異動

四月一日付で本村の学校教職員の異動が、次のとおりありました。

《村内異動》

- 朝日小学校
 - 教 頭 能登雄二郎(大納小)
 - 教 諭 三橋里子(大納小)
 - 養護教諭 竹内希代子(大納小)
 - 事 務 真田嘉代子(大納小)
- 和泉中学校
 - 校 長 加藤英紀(大納小)
 - 教 諭 末永 巖(村教委)
- 教育委員会事務局
 - 指導主事 小川秀之(和泉中)
 - 社会教育主事 新井俊成(和泉中)
- 《転 入》
 - 朝日小学校(和泉中兼務)
 - 教 諭 尾崎繭妙(新採用)
 - 和泉中学校
 - 教 諭 青木俊文(陽明中)
 - 教 諭 田中博文(新採用)

- 教 諭 畑中直美(新採用)
- 教 諭 山田弥和子(新採用)

《転 出》

- 早川きよみ 森目小(朝日小)
- 後藤香好 三国中(朝日小)
- 粟田孝子 下字坂小(朝日小)
- 三崎三希江 中央中(朝日小)
- 米村貴久 六呂師小(大納小)
- 萩原彦昭 尚徳中(和泉中)
- 石崎隆幸 北瀉小(和泉中)
- 網田友紀 南越中(和泉中)
- 平野由香里 愛発小(和泉中)
- 松間文孝 上庄小(村教委)
- 《退 職》
 - 松田桂子(大納小講師)

和泉駐在所に新しい

おまわりさん

三月二十五日付で警察官の人事異動がありました。本村駐在所の異動は次のとおりです。

《転入》

- 警部補 松浦康信
- 巡査 池田和久
- 《転出》
 - 警部補 山下利夫
 - 巡査 山岸信一

大野地区消防署

和泉分遣所職員一部異動

四月一日付で和泉分遣所職員の一部異動がありました。(敬称略)

《本部転出》

- 分遣所長 多田千年
- 消防士長 松田佳生
- 消防士 江川 敏

《新配属》

- 分遣所長 岸本良政
- 消防副士長 藤原史郎
- 消防士 南部浩治

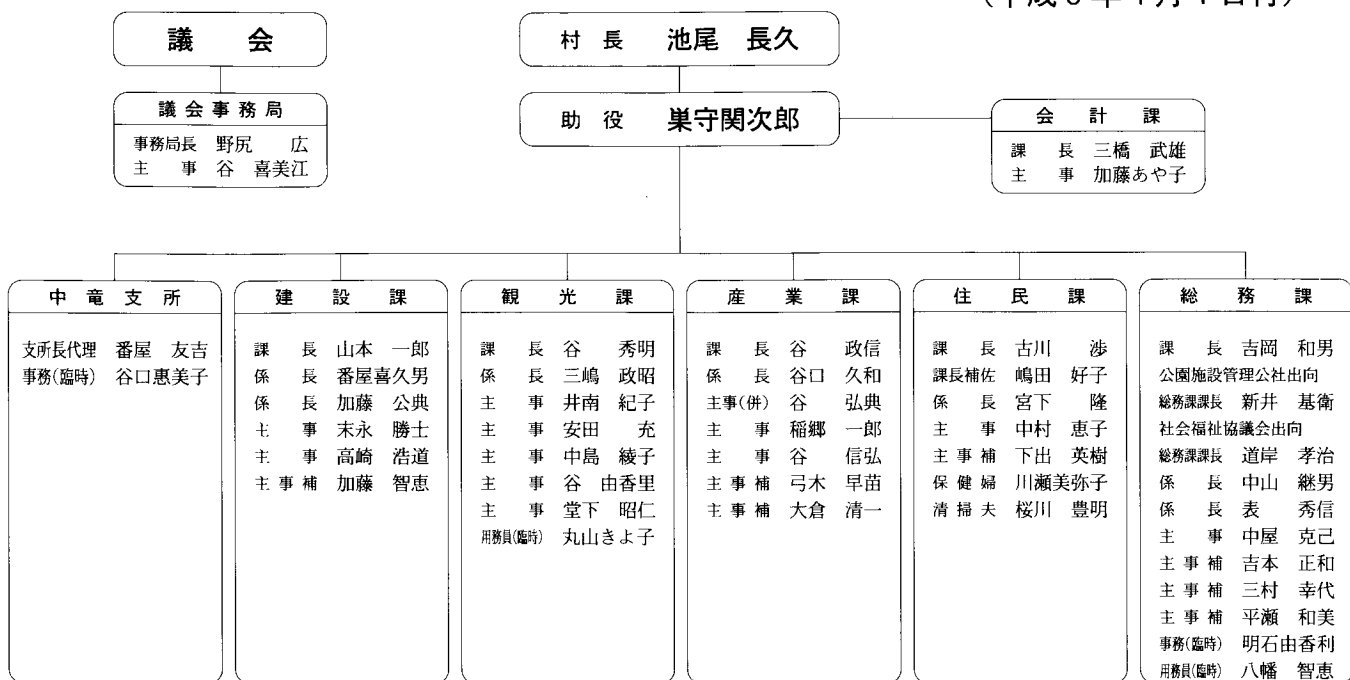
第2代 観光駅長誕生



昨年八月に発足した観光駅長の第2代目の選考会がこのほど行われ、大野市の永田京子さんが選出されました。永田さんは少林寺拳法二段というスポーツ好きの女性。「豊かな自然を都会の人にアピールしたい。」と意欲満々。「村の顔」としてのこれからの活躍が楽しみです。みなさんも応援して下さい。

平成8年4月 人事異動に伴う組織図

(平成8年4月1日付)



教育長 土谷 利美

教育委員会事務局

事務局長 中村 洋一
社会教育主事 新井 俊成
指導主事 小川 秀之
スポーツ主事 櫻井 透
主事 松田 俊彦
主事 高崎 集子
用務員 清家ひろみ

大納保育所

主任保母 吉村 春代
保母 谷口 香

朝日保育所

主任保母 帰山つゆ子
保母 石本 英子
保母 谷口美和子
調理婦 谷口みよ子

診療所

所長 宗 謙聡
医師 旭 伸一
看護婦 東 まゆみ
主事 中屋久美子
臨時 木下 久代

給食センター

調理婦 登 かず子
調理婦 田中 敦子

和泉中学校

運転手 古里 広芳
用務員 長岡とし子

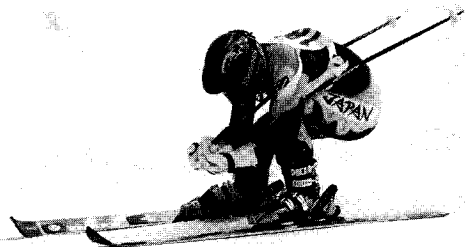
朝日小学校

用務員 原田ミヨ子

役場職員の一部異動

- ※公園施設管理公社出向
- 総務課課長 新井基衛(観光課)
- ※総務課
- 課長 吉岡和男(教育委員会)
- ※住民課
- 課長 古川 渉(会計課)
- ※産業課
- 課長 長谷 政信(建設課)
- ※観光課
- 課長 長谷 秀明(産業課長)
- ※建設課
- 課長 山本一郎(総務課)
- ※議会事務局
- 事務局長 野尻 広(住民課)
- ※会計課
- 課長 三橋武雄(議会事務局)
- ※教育委員会
- 事務局長 中村洋一(助公社)
- 用務員 清家ひろみ(給食センター)
- ※朝日保育所
- 主任保母 帰山つゆ子(大納保育所)
- ※大納保育所
- 主任保母 吉村春代(朝日保育所)
- ※給食センター
- 調理婦 登 かず子(大納小学校)
- ◎退職職員(三月三十一日付)
- 林 幸子(大納小学校)
- 平野京子(診療所)

IZUMI スキー特集



第17回 九頭竜スキー選手権

三月三日(日)、九頭竜スキー場にて今年で十七回を数える九頭竜スキー選手権が開催されました。

小学女子では、大納小の谷口好美さんが優勝。中学女子は和泉中が一位を独占するなど大活躍しました。村内参加者の入賞者は次のとおりです。

- ▼小学女子の部
一位 谷口好美(大納小)
五位 巢守美希(朝日小)

▼小学男子の部

- 三位 末永浩嗣(朝日小)
四位 山出裕幸(朝日小)
六位 山村直己(朝日小)

▼中学女子の部

- 一位 宮下美由紀(和泉中)
二位 山村麻衣子(和泉中)
三位 山村あゆみ(和泉中)
五位 長崎なつ子(和泉中)
六位 辻香織里(和泉中)

▼中学男子の部

- 四位 東拓也(和泉中)

▼一般女子の部

- 四位 谷喜美江(下山)

▼一般男子の部

- (二十五才以上三十五才未満)
三位 谷信弘(下山)
四位 谷弘典(下山)
(三十五才以上)
二位 加藤正徳(朝日)
四位 末永勝士(朝日)

村民スキー大会

恒例となっております村民スキー大会でしたが、今年はいよいよ大雪のため、小中学生のアルペンのみ、2月17日に行われました。

成績は次の通りです。



中学校スキー大会

宮下美由紀さん 全国大会出場

第33回県中学校スキー大会には四人が入賞し、3位の宮下美由紀さんは北海道で開かれた全国大会出場を果たしました。

▼アルペン女子の部

- 3位 宮下美由紀
5位 番屋久美子
6位 山村あゆみ

▼クロスカントリー女子の部

- 5位 表いく美

小男1部(1,2年)

- 1位 山村直己 46" 28
2位 巢守将大 1' 16" 51

小女1部(1,2年)

- 1位 川勝あゆみ 1' 03" 42
2位 谷悠佳子 1' 04" 02
3位 谷口真美 1' 04" 04

小男2部(3,4年)

- 1位 谷口祐亮 48" 07
2位 谷昭徳 48" 37
3位 番屋修平 1' 14" 42

小女2部(3,4年)

- 1位 巢守美希 57" 50
2位 長崎ちあき 1' 00" 62
3位 小坂美貴 1' 13" 04

小男3部(5,6年)

- 1位 山出裕幸 46" 73
2位 西健太 59" 28
3位 洞口翔 59" 43

小女3部(5,6年)

- 1位 谷口好美 47" 32
2位 三橋友里子 55" 29
3位 東紗裕美 58" 68

中学女子

- 1位 宮下美由紀 44" 57
2位 山村あゆみ 45" 70
3位 山村麻衣子 46" 03

中学男子

- 1位 東拓也 44" 06
2位 森尾翼 47" 45
3位 西款嗣 48" 70

SPORT

第二回IZUMI

クロスカントリー

スキー大会開催

第二回となるIZUMIクロスカントリースキー大会が三月十日(日)、上大納のクロスカントリースキー場にて行われました。今年は一回目とあり、富山や石川県からも参加があり、二百二十六名で熱戦が繰り広げられました。村内参加者の入賞者は次のとおりです。

▽五年生男子の部

三位 末永浩嗣(朝日小)

▽六年生女子の部

四位 表 和恵(朝日小)

五位 三橋友里子(〃)

六位 谷口好美(大納小)

▽ビギナー

一位 西川 諭(和泉中教員)

五位 宮本徹也(朝日小教員)

福井県クラブ対抗スキー大会

和泉スキークラブ

初の二位に躍進

去る一月十三日(土)・十四日(日)の両日、九頭竜スキー場とIZUMIクロスカントリースキー場で福井県クラブ対抗スキー大会が行なわれ、和泉スキークラブが団体総合二位に輝きました。

祝 和泉中女子団体優勝

第四十八回県民体育大会冬季大会スキー競技会は、勝山市で二月二十三日から二十五日までの三日間行われました。

主な成績は次のとおりです。

アルペン回転

▽中学女子

五位 辻 香織里(和泉中)

六位 番屋久美子(〃)

▽中学男子

五位 森尾 翼(和泉中)

六位 西 款嗣(〃)

▽一般女子

三位 谷 喜美江(下山)

アルペン大回転

▽中学女子

三位 山村あゆみ(和泉中)

四位 山村麻衣子(〃)

五位 宮下美由紀(〃)

▽一般男子三十五才未満

六位 巢守和義(後野)

▽一般男子三十五才以上

一位 末永 巖(川合)

六位 加藤正徳(朝日)

▽一般男子四十五才以上

四位 加藤健三(川合)

クロスカントリー リレー

▽中学女子

三位 和泉中

クロスカントリー 個人

三位 山村あゆみ(和泉中)

ちびっこスキー

大活躍

一月と二月にそれぞれ開催された第十五回県小学生スキー大会と第九回県ジュニアスキー選手権大会で、本村から参加の子供たちは日頃の練習の成果を発揮し、多くの入賞を果たしました。

県小学生スキー大会

<アルペン>

●低学年の部

1位 山村 直己
2位 谷口 真美
5位 谷 悠佳子
6位 川勝 あゆみ

●2、3年男子の部

1位 谷 昭徳
2位 谷口 祐亮

●3、4年女子の部

2位 巢守 美希
3位 長崎 ちあき

●5年男子の部

1位 末永 浩嗣

●6年女子の部

1位 谷口 好美
4位 三橋 友里子
5位 水谷 加奈

●6年男子の部

2位 長崎 康弘
3位 山出 裕幸

<クロスカントリー>

●低学年の部

4位 辻 さゆり
5位 森尾 真名美

●6年女子の部

3位 表 和恵
4位 坂下 明日香

県ジュニアスキー大会

●1、2年の部

1位 山村 直己
5位 谷口 真美

●3、4年女子の部

4位 巢守 美希

●3、4年男子の部

2位 谷口 祐亮
6位 谷 昭徳

●5、6年女子の部

3位 谷口 好美

●5、6年男子の部

4位 山出 裕幸
5位 末永 浩嗣
6位 長崎 康弘

●中学生女子大回転

6位 山村 あゆみ

平成8年度
主なスポーツ行事予定

6月2日(日) 和泉健康マラソン
7月7日(日) 村民バレーボール大会
7月14日(日) 県スポーツレクリエーション祭
10月6日(日) 村民運動会
10月13日(日) 第16回奥越マラソン和泉大会

第11回B&G剣道大会結果

- 去る三月二十日(水)、B & G 海洋センターにおいて、第十一回B & G 剣道大会が行われ、熱い熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。
- 団体戦
- 【小学生の部】
一位 和泉少年剣道教室 A
- 【中学生の部】
一位 和泉中男子、女子
- 個人戦
- 【三年以下の部】
一位 谷 昭徳(朝日小)
二位 辻 さゆり(大納小)
三位 谷 口 祐亮(朝日小)
- 【四年生の部】
三位 長崎 ちあき(大納小)
- 【五年生の部】
一位 宮原 玲子(朝日小)
二位 東 沙裕美(朝日小)
三位 道岸 美和(朝日小)
- 【六年生の部】
二位 山出 裕幸(大納小)
三位 谷口 好美(大納小)
- 【中学一年男子の部】
一位 東 拓也(和泉中)
- 【中学一年女子の部】
一位 宮下 美由紀(和泉中)
二位 森尾 佳寿美(和泉中)
- 【中学二年女子の部】
一位 番屋 久美子(和泉中)

スポーツ少年団

剣道部 寒稽古

恒例となっている寒稽古が一月二十六日(日)に行なわれました。小中学生での合同練習の後、試合が行なわれ、農林業者トレーニングセンターには、寒さを吹きとばすような元気なかけ声が響いていました。また終了後は、父母が作った豚汁で体をあたためていました。



▼寒いけれどファイト!!



囲碁大会 熱い戦い



一月十五日の中央公民館主催の囲碁大会が村社会福祉センターの和室で開催されました。十二名が参加し、総当たりのリーグ戦が展開されました。参加者は、一手一手に力が入り、好試合が多くありました。また、二月、三月にそれぞれ村長杯、電源開発(株)九頭竜電力所長杯大会も開催されました。成績は次のとおりです。

▼中央公民館長杯
優勝 天木英治(信用金庫)
二位 大野一男(電源開発)
三位 新谷保雄()

▼村長杯
優勝 大野一男(開発電子)
二位 新井俊成(和泉中学校)
三位 木下 勉(信用金庫)

中央公民館

成人学級の案内

▼電源開発(株)九頭竜電力所長杯
優勝 山本一郎(役場)
二位 土本守昭(郵便局)
三位 三橋武雄(役場)

中央公民館では、村民の教養と趣味の拡大をねらいとして次のとおりの成人学級を行っています。

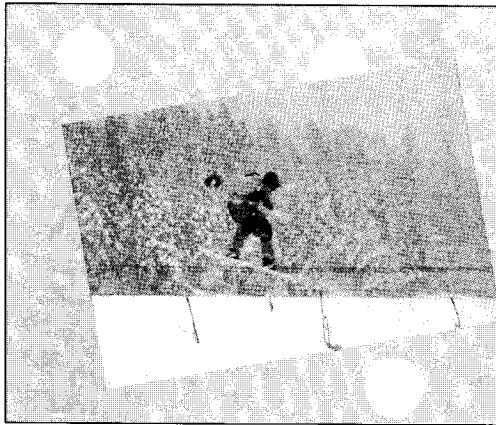
一昨年、昨年と休止状態でした絵画教室も講師がみつかり再開する予定です。成人学級は以下のとおりです。

月：横笛教室
火：大正琴教室(第二・四火曜日)
合唱歌教室(毎週火曜日)
水：毛筆教室(第二・四水曜日)
絵画教室(第二・四水曜日)
金：着付教室(第二・四金曜日)
土：詩吟教室(第二・四土曜日)

その他、村民の方々から要望があれば短期の教室等を開催したいと思っております。

申し込み、問い合わせは、教育委員会まで電話(七八二二一〇)でお願いします。

'96 九頭竜ゆきまつり



あいにくの雪模様となつた九頭竜ゆきまつり(二月十日)ですが、連休初日とあって早朝から大勢の親子連れらが詰めかけました。人気のスノーボード・ダウンメイクコンテストには、若いスノーボードたちが参加、ジャンプ台を使って空中でパフォーマンスを競いました。またその他には、アミューズメント広場、たいまつ滑降、どんと焼きなどが行なわれ、最後には火花大会がゲレンデを彩りました。

穴馬の歴史探訪 ④ 穴馬の歴史 面谷鉾山

穴馬は、古来、鉾山の村といつてよいほど、鉾山は大切な経済基盤でした。近年まで村の主観産業であった中鉾山を始め、多くの鉾山がありました。その中でも江戸時代、大野藩領の鉾山として全国的に隆盛を見た面谷鉾山があります。面谷鉾山の開業は、今から約九百五十年前、平安時代前期の康平年間(一〇五八〜一〇六四)であるとの説があります。また、南北朝時代の康永年間(一三四二〜一三四四)に清兵衛という獵師が山の頂上に露出した銅を見つけたのが最初であるとも言われています。天正年間(一五七三〜一五九一)には、大阪の豪商が、経営に手を出していたとの記録があり、寛文年間(一六六一〜一六七二)には越前松平藩が採掘に手をつけたようで、(越前国地理指南)によると、「寛文九年(一六六九)福井大火の後、材木を切り出した時に銅を発見した。」とあります。

宝永五年(一七〇七)頃には、大阪の精銅業者に送られた大野銅は、全国銅山の中でも一位〜二位の産出量であったとの記録があります。その頃、大阪への輸送は、面谷から大野、大野から福井までは駄走、福井から三国まで川を下り、三国から敦賀間は、海運、敦賀から塩津は駄走、塩津から大津間は船で運び、淀川を船で大阪に運んでいます。元文三年(一七三三)の古文書「諸国二九ヶ銅」の中に「土井甲斐守様越前面谷銅」の名前が見えて、当時の面谷鉾山の請負人は大阪の銅吹屋(多田屋)でした。寛政年間(一七八九〜一八〇一)頃になると、大阪の泉屋が稼業していたとの記録がありますが、経営は不振であったらしく、やがて泉屋も手を引いています。この後、しばらく休山が続いていましたが、天保一二年(一八四一)大野藩七代藩主土井利忠公の時、御手山(藩宮山)として面谷経営に乗り出しています。この時期、面谷奉行内山七郎衛門の元に開発が進み、良い鉾脈が見つかったことから年間一〇万貫(三七五キロ)以上の算出を生み、以後二三年間にわたり好調を続け、大野藩の一大財源となったのです。大野藩では、面谷から上がる財源を下に大野丸、カラフト経営の地盤を作ったといわれていて、藩の金蔵である面谷について「大野の殿様は面谷に足を向けて寝なさらなんだ」と言い伝えがあったといわれています。明治に入り、経営は大野藩の手を離れ、面谷村の人たちの手で細々と行われてい

たが、明治二三年に三菱合資会社が経営に乗り出し本格的近代鉾山が開始され、溶鉾炉も出来、精練も行なうようになって、国産最良の銅として評価も高く、砲弾、電線に使用され活況を呈しました。大正に入り、鉾脈の老齢化と銅需要の激減や、輸入銅に押され採算がとれず、相次ぐ不況と銅価格暴落のため、大正一年その長い歴史の幕を閉じています。その他、穴馬には、荷暮、上半原、久沢、影路、長野、角野、伊勢、上、下大納に鉾山があった記録があります。穴馬は、古来より鉾山の穴が多かった場所「穴間」が地名の由来かも知れません。

平成八年度 福井県国際交流 事業参加募集

'96国際青年の船、'96国際婦人の船第十七回近畿青年洋上大学の募集を行っています。行き先は、中国や韓国、ロシアなどで事業内容は、訪問都市での、社会・文化施設見学や現地ボランティアの人々との交流です。お問い合わせ、申込みは四月末日までに、教育委員会または、役場総務課へお願いします。

老人保健で医療を受けるには

老人保健法によって七十歳以上の
お年寄り（寝たきりのお年寄りは六
十五歳以上）が老人保健で医療を受
けることができます。

? いつから受けることが
できますか。

老人保健による診療を開始する日
は、七十歳の誕生日の翌月一日から
及び六十五歳以上の寝たきり状態に
あると市町村長が認定した月の翌月
一日からです。
ただし、誕生日や認定日が一日の
場合はその日から開始されます。

一部負担金

| | 外 来 | 入 院 |
|-----|--------------|------------|
| 改正後 | 1月 1,020円 | 1日 710円 |
| 改正前 | 1月 1,010円 | 1日 700円 |

※平成8年4月1日から変わります。

お医者さんに支払う一部負担金は
入院の場合、市町村民税非課税世帯

で老齢福祉年金受給者の方は、最初
の二ヵ月間は一日三〇〇円の負担三
ヵ月目以後は無料となります。

? 食事の一部負担金は

食事の一部負担金

| 一 般 の 人 | | 1日 600円 |
|---------------------------|---------|------------|
| 市町村民税 非課税世帯 の人 | 最初の3ヵ月間 | 450円 |
| | 4ヵ月目以後 | 300円 |
| 市町村民税非課税世帯で 老齢福祉年金の受給者 | | 200円 |

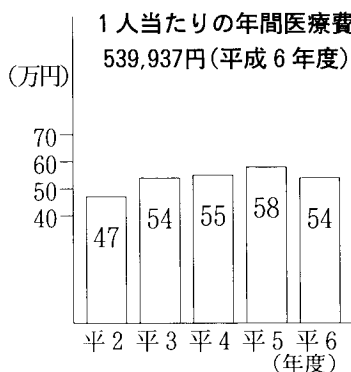
保険証と老人医療受給者証を忘れずに

お医者さんにかかるときは、窓口
に保険証と老人医療受給者証、健康
手帳を忘れずに持って行きましょ
う
保険証が変わった場合は、必ず保
険証と印かんを持って住民課と受診
中の医療機関へ届けましょ。

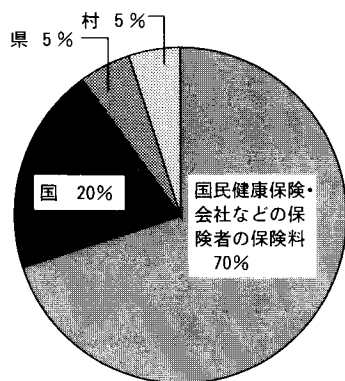
◆医療費を大切に

近年、医療技術の高度化や治療期

間の長い成人病の増加などによって
医療費が年々増えていきます。日頃の
健康管理・体力づくりを心がけ、医
療費を大切に使いましょ。



? 一部負担金を除いた
医療費の分担割合は
どうですか。



- お医者さんの上手なかかりかた
- ① 重複受診やハシゴ受診はやめましょ
 - ② 初診のときは保険証を忘れずに提出ましょ
 - ③ 時間外受診・休日受診はなるべく避けましょ
 - ④ 医師を信頼し、指示を守りましょ
 - ⑤ 家庭医を持ちましょ
 - ⑥ 薬ねだりはやめましょ
 - ⑦ 定期的に健康診断を受けましょ
 - ⑧ 病気の早期発見・早期治療を心がけましょ
- 老人医療に関するお問い合わせは
住民課 七七八-二二-一まで



国保だより

医療費が値上げになります
○医療費値上げ○

医療費は平成八年四月一日から平均三・四％（医科三・六、歯科二・二％、調剤一・三％）値上げされることになりました。ただし薬代が平均二・六％引き下げられるため、実質的には○・八％程度の値上げになるとみられています。

①初診料・再診料などの値上げ
②大病院への紹介状なしの初診患者
大病院（ベット数二百床以上）で開業医などの紹介状を持たないで初診を受けようとすると、法令で定め

| | | いままで | 4月1日から |
|--------------------------|-----------|--------|---------|
| 初診料 | 病院 | 2,080円 | →2,300円 |
| | 診療所 | 2,210円 | →2,500円 |
| 再診料 | 病院 | 500円 | →590円 |
| | 診療所 | 610円 | →700円 |
| ■診療報酬改定の事例 | | | |
| ◎風邪で2日間診療所に通院した場合のモデルケース | | | |
| | | いままで | 4月1日から |
| 初診料 | 診療料 | 2,210円 | →2,500円 |
| | 再診料 | 610円 | →700円 |
| 処置料 | 検査料 | 200円 | →240円 |
| | 検査料 (尿検査) | 250円 | →280円 |
| 投薬料 | | 2,620円 | →2,420円 |
| 合計 | | 5,890円 | →6,140円 |

た初診料以外に、その病院で定めた独自の初診料を患者が自己負担して払わなくてはならない場合が生じます。ただし、独自の初診料を徴収す

るかどうか、また、その金額はいくらにするかは、その病院で定めることになっています。これは、まず開業医の診療を受け、重い病気の場合は開業医の紹介で大病院へ、という望ましい医療の流れを定着化させるためにとられた処置です。

高額療養費自己負担割合引き上げに

平成八年五月一日から、いままで一人、一ヵ月、一つの病院・診療所について六万三千元だった高額療養費自己負担限度額が六万三千六百元に引き上げられます。

昭和五十九年の制度改正以降、各制度間の給付と負担の公平化の観点から国保の高額療養費の水準が健保の基準と同一とされてきていることから、今回も健保にならって六百円の引き上げとなったものです。
なお、今回の値上げには、同一世代での多数回の場合の特例や長期療養の場合の特例は除かれています。

おとしよりの医療費の値上げ

七十歳（寝たきりの老人等の認定者は六十五歳）以上のおとしよりは老人保健の制度により診療を受けま

すが、その際の医療費が次のとおり四月一日から値上げされます。

☆外来受診 一ヵ月一、〇一〇円が一、〇二〇円に。
☆入院 一日七百円が七百一〇円に。

外来受診、入院の場合とも、医療費は前年の消費者物価指数にスライドして変動することになっています。

また、入院の場合は、食事代の一部として一日六百円（平成八年九月三十日まで）を自己負担することになっています。

国民年金だより

▼四月から国民年金の保険料額が変わります。現在、高齢化がどんどん進む中、年金制度を将来にわたって安定したものとするためには保険料額の改定が必要となります。

そこで平成八年四月から国民年金保険料額が一万二千三百円になりました。

▼国民年金には、一年分または一定期間分の保険料をまとめて納める「前納制度」をご利用ください。

平成八年四月から平成九年三月までの一年分の保険料を前納した場合は、次の表のように割り引かれます。前納についてのお申し込み、お問

平成8年4月分～9年3月分を前納した場合

| | 毎月納付すると | 前納すると | 割引額 |
|-------|----------|----------|--------|
| 定額保険料 | 147,600円 | 144,040円 | 3,560円 |
| 付加保険料 | 4,800円 | 4,680円 | 120円 |

合わせは、役場までご連絡ください。
▼加算額の対象者に異動があったときは：

障害基礎年金や遺族基礎年金を受けている方は、加算額の対象者となる子が次のいずれかに該当したときは、役場に届出が必要です。

- ① 受給権発生当時、胎児だった子が生まれたとき
 - ② 亡くなったとき
 - ③ 受給者に生計を維持されなくなったとき
 - ④ 結婚したとき
 - ⑤ 他の人の養子になったとき
 - ⑥ 離縁により、受給者の子でなくなったとき
 - ⑦ 障害の状態にある子が、十八歳以後、障害等級の1級・2級に該当しなくなったとき
- 詳しいことは役場住民課まで

縁起物だよ

今日は楽しいひなまつり会

冬は楽しい行事がいっぱい。
三月四日(月)は、朝日、大納兩保育所でひなまつりの日を祝ってひなまつり会が行われました。
それぞれ、父兄や来賓の方々をお迎えし、この日のために練習してきた歌や踊り、劇を披露子どもたちのかわいい熱演ぶりに、会場内からは和やかに拍手が贈られ、楽しい一時を過ごしていました。



4月1日から、これまで県で行っていた

● 許認可等の事務の一部の申請窓口が変わります ●

| 事務の名称 | 主な事務内容 | 担当課 |
|-----------------|--|-------|
| 火薬類の譲受、消費の許可 | 打ち揚げ花火の使用等の煙火の消費および建設用紙打ち銃等の空包の消費、譲り受けの許可の申請 | 大野消防署 |
| 液化石油ガスの設備工事の届出 | 300キログラム1トン未満の液化石油ガス設備工事の届出 | 大野消防署 |
| 犬の登録、注射済票の交付 | 犬の登録、狂犬病予防注射済票の申請 | 住民課 |
| 遊漁船業の届出 | 遊漁船業の営業の届出、変更、廃止の届出(営業所が町(村)内に所在する場合) | 産業課 |
| 県有土地改良施設他目的使用許可 | 市町村が管理している県有土地改良施設に係る電柱、信号機、進入路、公共看板の設置等の許可の申請 | 産業課 |

このたび、各町村では事務を迅速化し、住民への行政サービスの向上を図るために、従来県で行われていた次の事務を役場または、最寄の消防署で行います。
四月一日からの申請や届出は、それぞれの担当課の窓口に出してください。

労働保険(雇用・労災)の申告納付期限は四月一日～五月十五日までです。労働保険平成七年度確定申告・平成八年度概算納付は早めに済ませましょう。
労働保険料申告の「集金受付会場」を設けていますのでご利用下さい。

事業主の皆さんへ

平成八年度 労働保険について

詳しいことは
福井県雇用保険課 ☎二二一―二二一
福井労働基準局 ☎二二一―二六五六
にお問い合わせ下さい。

大野公共職業安定所管内

| 受付月日 | 時間 | 場 所 |
|----------|--------------|----------------------|
| 4月22日(月) | 9:30 ~ 16:00 | 多田記念館 大野有終会館 |
| 4月23日(火) | 9:30 ~ 16:00 | 奥越地域センター 奥越振興センター |
| 4月26日(金) | 9:30 ~ 16:00 | 多田記念館 大野有終会館 |

裁判「憲法週間を迎えて」

裁判所は、憲法の番人として、国民の基本的人権を守り、法の支配を維持する役割を果たしています。
また、全国の裁判所では、毎年五月の一日から七日までを憲法週間とし、法務省、弁護士会の協力を得て、講演会や無料法律相談などの各種行事を行っています。

人のつどき

この広報について、詳しくお知りになりたい方は、福井地方裁判所総務課までお尋ねください。

あかちゃん (二月届)

名前 中村 高子 啓一 次女 朝日
保護者 続柄 住所



中おくやみ (一月届)

久津見千代子 八十九歳(朝日)
畑 しづ 八十一歳(上大納)
福田 治文 五十五歳(朝日)
鳴 義雄 八十三歳(下山)
田中 とめ 八十歳(朝日)



発行・福井県和泉村役場 編集・総務課 (TEL) 〇七七九・七八―二二二